

▶ HDD 構成

DS-2205B UHD 及び DS-4220 UHD では、ファームウェア Ver75 より、従来方式に加えてカセット方式[※]が使用できるようになりました。従来方式との違いは、以下の通りです。

※カセット方式 … シングルモードの HDD を複数作成し、HDD が故障した場合でも他の HDD が代用して録画が継続する機能です。

RAID5

【型番例】 DS-4220 UHD/300

データを複数の HDD に分散して格納するとともに、パリティデータ（誤り訂正補正）もあわせて書き込みを行うことで、耐障害性を高めた構成となっています。

HDD が 1 枚故障しても継続して運用できますが、2 枚以上故障した場合には録画映像の閲覧ができなくなり、復旧には HDD の全交換が必要となります。

録画容量は、RAID 構成している HDD 本数マイナス 1 本となります。
(1TB HDD×4 本= 4TB の場合、3TB まで利用可能)

カセット方式

【型番例】 DS-4220 UHD/300C

1 つの HDD を 1 つのボリュームとして扱います。
1TB HDD3 本の場合は、1TB のボリュームが 3 つできます。
それぞれのボリュームに異なる録画データを保存します。

HDD が 1 本故障した場合は、その HDD に保存されている録画データのみ失われ、閲覧できなくなります。
故障した HDD1 枚のみ交換することで復旧できます。

※いずれの構成の場合も、HDD が故障した場合はセンドバックでの交換修理となります。

▶ 型番ごとの HDD 搭載数/構成

DS-4220 UHD	/200	ネットワークレコーダー [20ch] HDD1TB × 3枚	RAID5構成
	/300	ネットワークレコーダー [20ch] HDD1TB × 4枚	RAID5構成
	/400	ネットワークレコーダー [20ch] HDD2TB × 3枚	RAID5構成
	/600	ネットワークレコーダー [20ch] HDD2TB × 4枚	RAID5構成
	/800	ネットワークレコーダー [20ch] HDD4TB × 3枚	RAID5構成
	/1200	ネットワークレコーダー [20ch] HDD4TB × 4枚	RAID5構成
	/1600	ネットワークレコーダー [20ch] HDD8TB × 3枚	RAID5構成
	/2400	ネットワークレコーダー [20ch] HDD8TB × 4枚	RAID5構成
	/3000	ネットワークレコーダー [20ch] HDD10TB × 4枚	RAID5構成
	/3600	ネットワークレコーダー [20ch] HDD12TB × 4枚	RAID5構成
	/200C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD1TB × 2枚	カセット方式
	/300C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD1TB × 3枚	カセット方式
	/400C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD2TB × 2枚	カセット方式
	/600C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD2TB × 3枚	カセット方式
	/800C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD4TB × 2枚	カセット方式
	/1200C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD4TB × 3枚	カセット方式
	/1600C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD8TB × 2枚	カセット方式
	/2000C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD10TB × 2枚	カセット方式
	/2400C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD8TB × 3枚	カセット方式
	/3000C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD10TB × 3枚	カセット方式
	/3600C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD12TB × 3枚	カセット方式
	/4000C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD10TB × 4枚	カセット方式
	/4800C	ネットワークレコーダー [20ch] HDD12TB × 4枚	カセット方式